

行事名 大阪府立三国丘高等学校 入学式式辞
日 時 平成三十年四月七日（土）午前10時開式
場 所 大阪府立三国丘高等学校体育館

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。保護者の皆様、ご家族の皆様におかれましても、さぞかしお喜びのことと存じます。心からお祝い申し上げます。また、本日は入学生へのお祝いに、大阪府教育委員会教育振興室高等学校課参事 濱崎 年久 様、三丘同窓会並びにPTA役員の皆様方をはじめ、多くの方々に、公私ご多用のところ、ご来賓としてご臨席を賜りました。誠にありがとうございます。高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

新入生の皆さん、ようこそ三国丘高校へ。皆さんは、中学校時代、学業だけでなく学校行事や部活動に熱心に取組み、その結果、見事、本校に合格されました。本当によく頑張りましたね。

ところで、皆さんは、本校のアドミッションポリシーを覚えていますか。「知・徳・体の調和のとれた人間を育成するとともに、社会に貢献する高い志とチャレンジ精神を持ったグローバルリーダーを育てる」を教育目標としており、「このことを理解して、夢の実現のために努力を惜しまない生徒を望む」、と示してありました。受験にあたり、皆さんは、熟読され、その主旨を踏まえた自己申告書を提出してくれました。そこに書かれた思いを受けとめ、頑張りを知るとともに、皆さんを本校に迎え入れたのです。すなわち、皆さんは、これからグローバルリーダーとなるべく、本校で学んでいくこととなります。

平成17年、中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の中で、「21世紀は、いわゆる“知識基盤社会（knowledge-based society）”の時代」と示されましたが、それから既に10年以上経った今日、インターネット等の普及により、必要な知識は瞬時に、どこにいても得られる時代であると言えます。その知識を、どのような目的で、誰のために、どのように使うか、そしてそれにより、何を成し遂げようとするかが問われる時代となってきているのではないのでしょうか。そのような時代のグローバルリーダーに求められるものは、知識が多い、外国語が話せる、外国で学んだ経験があるといったことにとどまらず、まさに、グローバル、すなわち、地球を1つの地域として感じ、考えて、そこに生きる様々な人々に思いをはせ、貢献することができるよう、適切にリードする資質であると考えます。

新入生の皆さんの中には、「難しいことを言うなあ」、と感じている人がいるかもしれませんが、心配することはありません。皆さんの先輩が、既に様々なところでグローバルリーダーとして、活躍されておられます。もちろんそれは、本校の「自主自立」「文武両道」「切磋琢磨」の三丘スピリットのもと、各教科の授業に全力で取り組み、スーパー・サイエンス・ハイスクールやスーパー・グローバル・ハイスクール、グローバル・リーダーズ・ハイスクールなどの取組みでの最先端の研究や様々な体験、そしてさらに学校行事や部活動で自分を鍛え、友人との絆を深める中で、知・徳・体の調和のとれた人間となるよう、三年間の高校生活で少しずつ成長していったからです。皆さんも、先生方の指示をしっかりと聞いて日々の授業を大切にするとともに、先輩を見習い、さらに先輩を乗り越えていけるように、着実に、そして、大きく成長することを期待しています。

最後になりましたが、学校での教育活動につきましては、同窓会やPTA、ご家庭の皆様のご理解・ご協力がなければ十分な成果を上げることはできません。ご関係の皆様へ、これまでのご理解・ご協力に心より感謝申し上げますとともに、今後も、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成三十年四月七日
大阪府立三国丘高等学校
校長 小嶋 信男